

令和5年7月13日（木）

学校だより『不撓不屈』



学校教育目標 誠実・健康・努力

釜石市立唐丹中学校

第10号

唐丹町字小白浜314
TEL 0193-55-2106
文責 校長 八木稔和



不撓不屈



7月7日（金）、腰塚勇人先生に唐丹中にお越しいただき、「命の授業」講演会を行いました。

腰塚勇人先生は、8号でお知らせしたとおり、元・神奈川県の中学校体育教師で今は講演家として全国を飛び回っていらっしゃいます（8月にはアメリカ・ダラスの日本人学校で講演されるそうです）。お忙しい中、時間調整をしていただき、唐丹中の生徒だけのためにお越しいただき、生徒たちに向けられた魂が込められたあつという間の90分間でした。

腰塚さんの命の授業でドリー夢メーカーという言葉が心に残りました。私は、この授業を受ける前は命の大切さは理解していたけれど、生きてると人を傷つけたり逆に傷ついてしまうということを考えないで思ったことをつい口に出してしまっていたので、これからは自分の生き方を見直そうと思いました。私も誰かのドリー夢メーカーになりたいと思いました。（1年 佐々木 心愛）

今日は、腰塚さんに来ていただいて心に残る言葉がたくさんありました。その中でも心に残ったのは「助けて」を言える人、言われる人になることです。私はこれまで周りに助けを求めずに自分で何とかしようとして我慢することが多くて元気でいられない時がありました。なので、これからは自分で考えてもダメだったら信頼できる人に相談できるようにしたいです。そして、友達が困っていたり悩んだりしていたら、話を聞いてあげられる人になりたいと思ったからです。自分も誰かのドリー夢メーカーになりたいと思いました。（2年 上野 聖奈）

今日の命の授業で自分の中にも「ドリー夢メーカー」と「ドリー夢キラー」がいるということが分かった。自分を輝かせる「幸動」は「自分の気持ちにうそをつかないこと」、友達・家族を輝かせる「幸動」は「笑って楽しく接すること」をこれから意識したい。つらい時も苦しい時も支えてくれる家族、友達がいるからこそ頑張れるということに改めて気づくことができました。自分で自分の夢をあきらめてしまわないようにしたい。なりたい自分の姿が見えたような気がした。（3年 香川 彩夏）